

斑入り草木（観葉植物）【つわぶき（石菫）】（平成19年11月11日）

つわぶき（石菫）の斑入りを手に入れた。

「つわぶき」と言えば島根県の津和野を思い出す。

津和野町観光協会によれば、津和野とは「つわぶきの生い茂る野」の転化だそうで、「SLやまぐち号」が走り始めた昭和54年に初めて訪れた時も、掘割に鯉が泳ぐ養老館前の殿町通りに「つわぶき」が植えられていた。最も訪れたのは盛夏で、此花の花期は10月下旬からである。

「つわぶき」は、植え替えを嫌う草木で、昔、西伊豆の土肥の安楽寺から移植したときは何度も失敗したと母親が言う。根が着けば、日陰でもよく咲く、花の少ない晩秋に和む草木である。

